

## 2024年夏 青春18きっぷの旅②

### ～真岡鐵道、いすみ鉄道

2024年8月4日(日)

#### (1) 真岡鐵道

2024年夏の青春18きっぷの2日目は、茨城県と栃木県にまたがる真岡鐵道と千葉県のいすみ鉄道に乗車しました。

真岡鐵道は茨城県筑西市の下館から栃木県芳賀郡茂木町の茂木までの路線長41.9kmの真岡線を運営する第3セクター鉄道会社で、1988年4月にJR東日本の真岡線を引継いで鉄道事業を開始しました。真岡鐵道についてあまり知識が無かったのですが、SLを運転していることや真岡駅の建物がSLの形をしていることは知っていました。今回、真岡線に乗車するためにダイヤを調べた際、途中に益子があることを知り、子供が小さかった頃に陶芸体験をするために益子まで車で来たことを思い出しました。

<2024年8月4日>	
○ 有楽町	05:23 発
	J R山手線
	05:33 着
○ 上野	05:46 発
	J R東北本線 普通 宇都宮行き
	07:01 着
○ 小山	07:07 発
	J R水戸線 普通 高萩行き
	07:28 着
○ 下館	07:31 発
	真岡鐵道 普通 茂木行き
	08:39 着
○ 茂木	08:52 発
	真岡鐵道 普通 下館行き
	10:09 着
○ 下館	

今回も早朝出発のため、東京発の東北本線下り電車が無かったので上野を5時46分発の宇都宮行きに乗車しました。昨日の電車より22分早い電車ですが、ロングシートの6～7割は埋まっていたように思います。小山に7時01分に到着し、今日は水戸線に乗換えて下館に向かいました。

下館駅の真岡線列車

下館駅に行くためには、常磐線で友部から水戸線に乗り継ぐルートもあったのですが、電車のダイヤの関係で小山経由を選択しました。小山を7時07分発の水戸線に乗車し、下館に7時28分に到着しました。真岡鐵道のホームは下館駅の一番端にあり、水戸線から直接乗換が可能で、3分の乗換え時間で真岡鐵道に乗り継ぐことができました。

下館を7時31分に出発した真岡鐵道の茂木行き列車には高校生も乗っていましたが、隣の下館二高前で下車していきました。真岡では4分の停車時間があったので下車してみました。真岡駅はSLの形をした特徴のある駅舎として有名で、駅構内にはD51を圧縮空気で駆

下館	7:31
下館二高前	7:35
折本	7:39
ひぐち	7:42
久下田	7:48
寺内	7:51
真岡	7:57
北真岡	8:00
西田井	8:05
北山	8:08
益子	8:11
七井	8:18
多田羅	8:20
市塙	8:27
笛原田	8:33
天矢場	8:35
茂木	8:39

動して構内の線路を 30m走行するイベントが実施されており、そのイベントに使用する D51 の姿も見えました。真岡を出発して幾つかの駅に停車し、益子では殆どの乗客が下車したので車内には数える程の乗客しか残っていません。益子は益子焼で有名な町ですが、真岡線の駅があることは知りませんでした。終点の茂木には 8 時 39 分に到着しましたが、行き止まりの終着駅で駅前には特に何もありませんでした。終点まで乗車してきたのは私を含めて 2 名だったように思います。彼も時刻表を持った若者で、同じように駅前で時間をつぶして折返し列車に乗りました。茂木では 13 分の折返し時間で 8 時 52 分に下館行きが発車します。

来るときは列車の車内で精算しましたが、茂木には切符の自動販売機があったので茂木から下館までの 1,050 円の乗車券を購入しました。水田の緑豊かな車窓風景を眺めながら、来た路線を折り返しましたが、途中駅では少しづつですが乗客も増え、10 時 09 分に終点の下館に到着した時点では座席は殆ど埋まっていました。

下館の 1 番線に到着すると、隣の側線に 10 時 35 分発の「SL もおか号」が入線しており、乗客の検札も始まっていました。下館では C12 が牽引する「SL もおか号」の出発を見てから帰ろうと考えていました。下館駅の直ぐ近くの踏切まで歩いて行くと、ちょうど「SL もおか号」が側線から 1 番線に入るため動き始めたところでした。

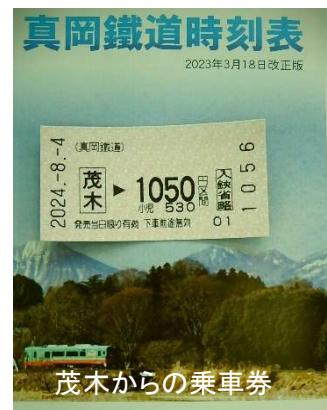
久しぶりに SL の汽笛と吐き出す蒸気や煙を見て感激しました。踏切の近くの公園では、私と同じ場所で何組かの親子連れが SL の出発を見守っていました。駅のホームでは真岡鐵道の方が見学の子供たちに SL について詳しく説明をしてくれていました。そうこうしているうちに 10 時 35 分の出発時刻となり、大きな汽笛とともに C12 が牽引する「SL もおか号」がゆっくり動き始めました。電車や気動車と違い、起動はゆっくりですが懐かしい SL の動きを見ながらビデオを撮影しました。下館を出ると線路は右に曲がっているため、しばらくすると列車の姿は見えなくなりましたが、C12 の汽笛は姿が見えなくなつてからも何度か聞こえてきました。SL の発車を見送り、下館駅に戻ろうと踏切を渡って反対側から JR の



北真岡-益子間の直線区間



茂木駅の下館行き列車



茂木からの乗車券



下館駅の SL もおか号

下館駅に戻ろうとしたのですが、反対側は関東鉄道の改札口となっているため入場券を購入しないと JR 側には通り抜けできません。仕方が無いので、駅の外の陸橋を渡って JR の下館駅に戻ってきました。

下館から千葉方面に行くためには、東京を経由するのが一番早く行けるルートです。下館から東京に行くには小山経由で東北本線に乗るルートと友部経由で常磐線に乗るルートがありますが、小山経由の方が早そうなので今朝と同じルートで東京に戻ることにしました。

下館を 11 時 01 分発の同じ時刻に小山行きと友部行きの水戸線の電車があり、小山行きに乗車して 11 時 24 分に小山に到着しました。小山を 11 時 31 分発の東北本線経由の平塚行きに乗車し、東京に 12 時 56 分に到着しました。

東京から外房線の大原に行くには幾つかのルートがあるのですが、この時間帯で大原に一番早く着くのは京葉線の 13 時 04 分発の上総一ノ宮行きでした。京葉線への長い乗換え通路を早足に歩き、8 分の乗換え時間で 13 時 04 分発の京葉線に乗り継ぐことができました。蘇我を経由して上総一ノ宮には 14 時 31 分に到着し、上総一ノ宮で 14 時 39 分発の外房線の木更津行きに乗り換えました。夏休みの学生たちの合宿なのか、この電車は結構混みあっていました。大原までは 17 分ですので直ぐに到着し、14 時 56 分にはいすみ鉄道との乗換え駅である大原に到着しました。

## (2) いすみ鉄道

いすみ鉄道は国鉄木原線を引き継ぐ第 3 セクター鉄道会社として設立され、1988 年 3 月に「いすみ線」の運営を JR 東日本から引き継ぎました。いすみ鉄道いすみ線は、大原から上総中野までの 26.8 km の路線で、上総中野で小湊鉄道と接続しています。木原線は、その名前のとおり元々は木更津と大原を結ぶ鉄道として計画されたものでしたが、久留里線と接続する計画が実現しないまま国鉄時代は大原から上総中野までの路線を木原線と呼んでいました。

第 3 セクター鉄道としての営業は厳しい状況にあるのかもしれません、会社の社長を公募し、特色のある独自のイベント列車を計画するなど色々な工夫を続けているようです。私がいすみ鉄道について知っていることと言えば、テレビの旅番組で紹介されたこと位なので、今回初めていすみ鉄道に乗車して沿線の案内パンフレットを見て初めて知ったことが幾つかありました。

<2024 年 8 月 4 日>

- 下館  
| 11:01 発  
| J R 水戸線 普通 小山行き  
| 11:24 着
- 小山  
| 11:31 発  
| J R 東北本線 普通 平塚行き  
| 12:56 着
- 東京  
| 13:04 発  
| J R 京葉線 快速 上総一ノ宮行き
- 蘇我  
| J R 外房線 快速 上総一ノ宮行き  
| 14:31 着
- 上総一ノ宮  
| 14:39 発  
| J R 外房線 普通 木更津行き  
| 14:56 着
- 大原

いすみ鉄道はJR大原駅の改札脇のホームから出発するため、JRの改札を出ていすみ鉄道のホームに到着する頃には15時01分の出発時間ギリギリとなり、駅員さんに「切符は車内で購入できるので急いで下さい。」と言われました。いすみ鉄道の車両は黄色の車体に緑の帯をまとった可愛いディーゼル列車です。駅にあった観光パンフレットには沿線の観光案内が書かれており、名前は知っていた大多喜城も紹介されていました。

15時01分に大原を出発し、短いホームの駅に停車しながら列車は進み、国吉ではいすみ鉄道の車両のかぶり物をつけた「いすみ鉄道応援団」のおじさんが車内でポップコーン販売のため乗車してきました。大多喜では6分の停車時間があつたのでホームに降りてみましたが、駅から大多喜城は見えなかったように思います。その後も列車は順調に走行し、定刻の15時59分に上総中野に到着しました。これで、いすみ鉄道を全線乗車することができました。

この先、上総中野から乗車してきたルートを大原に戻って外房線で房総半島を1周すると外房線は青春18きっぷを利用できるのですが、上総中野から大原に戻る「いすみ鉄道」の料金と小湊鉄道で五井までの小湊鉄道の料金は大差ないので、今回は都心に早く戻れる小湊鉄道への乗継ぎを選択しました。因みに、いすみ鉄道と小湊鉄道を乗り継いで大原から五井まで2,000円で乗車できる割引切符が発売されており、今回はそれを購入して房総半島を私鉄で横断することにしました。上総中野を16時22分発の小湊鉄道の列車に乗り、房総半島の里山と水田が広がる車窓風景を眺めながら五井を目指しました。この辺りの水田は早場米が多いのか、既に黄色い稲穂が垂れている水田も多く見られました。水田風景と鉄橋で川を横断する風景が久留里線の沿線に似ていると感じましたが、確かに地理的にも近いので当然なのかもしれません。

小湊鉄道で珍しいのは、今でも列車交換にタブレットを使用していることです。途中駅で運転士さんと駅員さんがタブレット交換をしている風景を久しぶりに見ました。そんなこ

<2024年8月4日>

○ 大原	15:01 発
	いすみ鉄道
	普通 上総中野行き
	15:59 着
○ 上総中野	16:22 発
	小湊鉄道
	普通 五井行き
	17:39 着
○ 五井	17:51 発
	J R内房線 普通 千葉行き
	18:01 着
○ 蘇我	18:10 発
	J R京葉線 普通 東京行き
	18:50 着
○ 新木場	

#### いすみ鉄道のダイヤ

大 原	15:01
西 大 原	15:04
上 総 東	15:11
新 田 野	15:15
国 吉	15:20
上 総 中 川	15:25
城 見 ケ 丘	15:29
大 多 喜	15:38
小 谷 松	15:42
東 総 元	15:44
久 我 原	15:47
総 元	15:50
西 番	15:55
上 総 中 野	15:59



とを考えながら外を見ているうちに、五井に 17 時 39 分に到着しました。小湊鉄道は第 3 セクター鉄道ではないので今回の旅の対象ではありませんが、これで未乗車だった 1 つの私鉄路線を乗車することができました。

五井からは JR 線に戻って内房線、京葉線を乗り継いで新木場に 18 時 50 分と当初の予定より早い時間に戻ってくることができました。

#### 小湊鉄道のダイヤ

上 総 中 野	16:22
養 老 溪 谷	16:32
上 総 大 久 保	16:37
月 崎	16:42
飯 紿	16:47
里 見	16:52
高 滝	16:55
上 総 久 保	16:59
上 総 鶴 舞	17:02
上 総 川 間	17:05
上 総 牛 久	17:12
馬 立	17:17
光 風 台	17:21
上 総 山 田	17:25
上 総 三 又	17:28
海 士 有 木	17:31
上 総 村 上	17:36
五 井	17:39

